

# 川上ダム通信 2022 7 月号



令和4年5月1日に  
設立60周年を迎えました



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。  
<https://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索  
(右のQRコードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)



川上ダム公式 Twitter で工事の進捗状況やイベント情報を随時更新中!  
[https://twitter.com/jwa\\_kawakami](https://twitter.com/jwa_kawakami)

ご意見・ご感想はこちらへ  
<mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

## 川上ダムのダム湖名を募集します！ — ダム湖の名付け親になりませんか —

令和4年度の完成に向けて、現在試験湛水中の川上ダムでは、今後さらに水位が上がり、広大な「ダム湖」が誕生します。そこでこの新しい「ダム湖」が地域の皆様に親しまれ、長く愛されるような名称を募集します。是非ご応募ください。

「ダム湖名称(フリガナ)」、「命名した理由」「応募された方の氏名」「住所」「電話番号」「メールアドレス」を記入し、所定の用紙を応募専用ポストに投函するか、又ははがき、FAX、メール又はWEBサイトでの応募をお願いします。

詳細については、川上ダム建設所のほか各所にあるチラシ又は川上ダムホームページをご覧ください。チラシの置き場所は、以下のとおりです。締切は令和4年8月19日(金)で、令和4年12月に選考結果をホームページ等で公表する予定です。

### 〔注意事項〕

- 応募いただく名称は、応募毎に1案までとします。
- 個人情報 は名称選考の目的のみに使用し、選考後は破棄します。
- 選考は必ずしも、応募数が多い名称を選ぶものではありません。
- 「ダム湖名称」は応募者の許諾なしに自由に使用します。

### チラシ配布場所 (開庁時間のみ)

伊賀市	・伊賀市役所 ・伊賀市青山支所 ・伊賀市地区市民センター (阿保地区、桐ヶ丘地区、上津地区、博愛地区、矢持地区、高尾地区) ・ハイピア伊賀 ・青山ハーモニー・フォレスト ・伊賀市上野図書館
国土交通省	・近畿地方整備局木津川上流河川事務所 ・近畿地方整備局淀川ダム統合管理事務所天ヶ瀬ダム管理支所
三重県	・伊賀庁舎
関係自治体	・笠置町役場、南山城村役場、和束町役場、山添村役場
水資源機構	・関西・吉野川支社 淀川本部 ・木津川ダム総合管理所 ・川上ダム建設所

### 〔応募先・問い合わせ先〕

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
「ダム湖名募集係」

〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251  
TEL 0595-52-1661 FAX 0595-52-4085

E-mail: [kawa-damko@wine.ocn.ne.jp](mailto:kawa-damko@wine.ocn.ne.jp)

WEBサイト: <https://forms.gle/cABeyN3SDHJ6nwSD8>

QRコードからWEBサイトにアクセスできます。



# 川上ダム水源地域ビジョン策定に向けて

## － 第5回 作業部会の開催 －

川上ダムでは、完成後のダムを活かした水源地域の自立的・継続的な活性化を図るための行動計画である「水源地域ビジョン」の策定に向けて作業部会を開催しており、令和4年6月2日（木）に第5回作業部会を開催しました。今回の会議では、関係者等へのヒアリングを踏まえた水源地域活性化に関する具体的な取組、水源地域ビジョン策定後の推進方策について意見交換を行いました。また、ダム湖面利用ルール(案)及びダム湖名選定方法についても意見交換を行いました。

今後も作業部会の開催を重ね、水源地域活性化に寄与するビジョンの策定へ尽力してまいります。



第5回 作業部会

【調査設計課 水野正明】

# 川上ダムで実施している水質調査

川上ダムでは、ダム周辺の河川及び貯水池内で採水し、水質調査を行っています。併せて、堤体直上流に水質自動観測装置を設置し水質の自動観測を行っています。

水質調査については、湛水前は1回/月の調査を行っていましたが、令和3年12月より試験湛水の開始に合わせて、2回/月の頻度で調査を行っています。貯水池内においては、ダムサイトで1地点、川上川筋及び前深瀬川筋で各1地点の計3地点で調査を行っています。調査結果は、環境基準値との比較を行うとともに、調査地点ごとの経月変化を整理し、変動の監視を行っています。

水質自動観測装置では、3時間毎に鉛直方向の自動観測を行っており、表層から底層までの水質の変化を監視し、水質保全のための選択取水設備、曝気循環設備、深層曝気設備及び流入水バイパスの運用に役立てることとしています。

令和4年の調査では、試験湛水に伴いダム貯水位が上がっていく中で、水質がどのように変化していくのか注視していきます。



採水状況（貯水池）



採水状況（ダム周辺の河川）



貯水池内の調査地点及び  
水質自動観測装置設置地点

【環境課 川崎彩花】

# 川上ダム紙面見学会

今月号も、「川上ダム紙面見学会」をお届けいたします！  
第3弾となる今回は、美しいダムの景色をお楽しみください。

【総務課 奥野紗江】



湖面のゆらめきがとても幻想的です。

「川上ダム紙面見学会」では、皆さまのリクエストにお応えしますので、こういったところが見たい！など、是非「#川上ダム」でツイートするか、メール (somu1@lily.ocn.ne.jp) にてご要望をお聞かせください！



## 千方ウォーキングに参加しました

新緑まばゆい5月29日(日)、伊賀市高尾において<sup>ちかたでんしょうかい</sup>千方伝承会が主催するイベント「千方ウォーキング」に参加しました。

杉の木立から放たれるアロマに癒やされながら、スタート地点の高尾地区市民センターから、約1.6km先にある「千方窟」(平安時代の豪族「藤原千方」が、朝廷軍との戦いの際に立て籠もった城郭跡と言われる柱状節理の岩盤)までの道のりを爽やかに歩くことができました。ゴールの千方窟に到着した時、屏風のようにそびえ立つ柱状節理の岩盤に圧倒され、藤原千方の要塞を彷彿させる神秘的なものを感じました。

参加人数を最小限としたささやかなイベントではありましたが、快く受け入れていただいた千方伝承会並びに地元高尾地区の皆様方に深く感謝致します。



道中での杉の木立



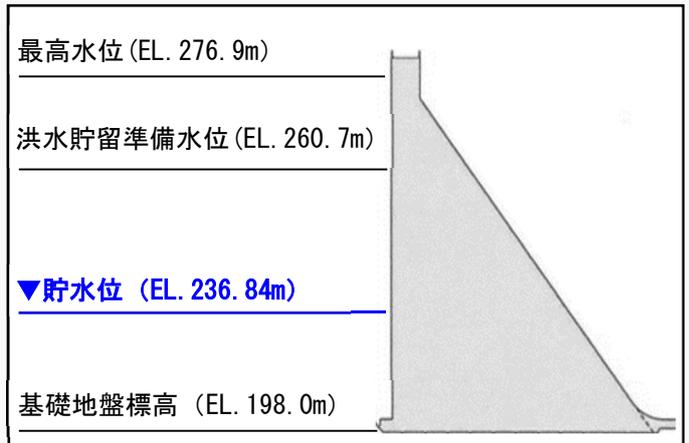
千方窟にて

【調査設計課 水野正明】

# 試験湛水進捗状況

川上ダムは令和3年12月16日に試験湛水を開始しました。川上ダムの基礎地盤標高EL. 198.0mに対して令和4年6月17日（9時）には貯水位EL. 236.84mに達しており、貯水率（最高水位までの貯水量31,000千 $m^3$ に対する割合）は約13%（4,099千 $m^3$ ）です。

6月16日から10月15日は洪水期となっています。洪水期は大きな洪水が想定されることから、ダムの防災操作（ダム上流から流れてきた洪水の一部を一時的に貯め込み、ダム下流に流す量を減らす操作を行うことで洪水による被害を軽減すること）を行う容量を確保するため、洪水貯留準備水位を越える常時貯留は行いません。洪水期が終わり非洪水期になったら常時貯留を再開し、最高水位まで水を貯めていきます。



試験湛水状況（令和4年6月17日9時）



【管理課 北爪 皓】

## 編集後記

しばらく先の梅雨明けが待ち遠しい日々となっております。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。筆者はこの外出を妨げる長雨を好機として、家で読んだ本について文章を書くことにしており、梅雨が明けるまでに完成させたいと作業を急いでいます。

これからの季節ますます暑くなりますので、健康にはくれぐれもご注意ください。

### 【広報誌発行事務局】

編集長 津久井（所長）  
デスク 荒木（総務課長） 松浦（工務課長）  
記者 奥野（総務課） 北爪（管理課） 近藤（用地課）  
山田（工務課） 山下（工事課） 土屋（機械課）

